



「アナタの知らない月世界ーザ・ムーンー」クロージング講演会

月からわかる地球と太陽系の歴史

アポロ時代から最新の探査までの膨大な研究によって、これまでに月の何がわかったのか、残された謎は何か、について解説します。

- と き** 9月14日(日) 午前11時～正午
- と ころ** 1階 サイエンスショールーム
- 講 師** 東京大学理学系研究科 准教授 諸田 智克
- 参加費** 無料 ※申し込み不要

★午後1時30分～50分 企画展「アナタの知らない月世界」(3階展示室)で講師による展示解説を開催します。(要展示室観覧料)



いのち 生命の海から

館長 山中 敦子

かけがえのない美しさ

明治時代の文豪が、「Moon Song」の一文を「月がきれいですね」と訳したとされる逸話を「存じですか?月は、地球のたった一つの衛星です。金の三日月、白銀の満月、かすみの向こうにおぼろにかすむ姿でさえ美しい、かけがえのない伴侶です。傍らの思い人に愛を語る言葉として、月の美をたたえるなんて、なんて奥深いんだらう、と感じ入った次第です。

月の美しさは、望遠鏡越しに眺めると、いっそう深みを増すように思います。白く輝く月面には、おびただしい数の小さな穴が開いています。大気のない月では、風雨で大地が浸食されることがないので、太古からの隕石衝突の跡が残っているのです。

ウサギ模様の黒っぽい部分は、今からおおよそ40億年前、いくつもの巨大隕石が月に衝突した痕跡です。衝撃で地下の岩石が溶けてマグマとなり、衝突でき

た穴の底からしみ出して、冷え固まってできたものです。

地球と月は同時に生まれ、ずっと互いの周りを回り続けてきました。月に激しい隕石衝突があった時代には、地球にも同様に隕石が降りそそいでいたことでしょう。月にウサギ模様ができるときには、地球にも巨大隕石が衝突したことは想像に難くありません。46億年連れ添った伴侶の姿には、運命を共にしてきた歴史が刻まれているのです。

そう思って夜空の月を見上げれば、長年の連れ合いにこそ、「月がきれいですね」と伝えたくならないというものではありませんか?

人類の月面着陸50周年にあたる今年の中秋の名月は、9月13日です。晴れますように…。



地球からは見ることのできない「月の横顔」
© NASA/JPL/USGS

9月 イベントカレンダー

日	イベント名	内容
1	海めぐりジオツアー	「星の王さま 新たなる冒険 僕のパラを探せ!」
7	科学ふしぎ発見!	展示解説「最初の人類の最古の足跡」
8	小学校高学年向け理科実験室	人間を電池に! 電池のひみつ
14	企画展クロージング講演会	ピースを通して結ぶネットワーク
15	竹島海岸の生物を観察しよう	小学校中学年向けかがく教室
16	科学館・図書館スペシャル	科学館・図書館スペシャル
19	一般科学講座	トヨタ科学のびつくり箱!
21	カニカニ合戦	カニカニ合戦
22	展示解説	展示解説「生命のはじまり」
23	海めぐりジオツアー	海めぐりジオツアー
28	おはなしライブ	おはなしライブ
29	化学マジックショー	化学マジックショー

★事前申し込み ★講座会員限定
本工作 9月14・15・16日開催

各イベントの時間・定員・参加方法などは科学館ホームページでご確認ください。